

# 日々、市役所で働く職員さんと、 働く場としての市役所について ついて考えました。

市民の皆さんにとって市役所は市民サービスを受けたり、困ったことを相談したり、市民活動を行う場です。一方、それらを担う職員にとって、市役所は働く場だと言えます。ほぼ毎日、市役所で過ごし、行政サービスを支える職員を対象に、これらの市役所の働く環境はどうあるべきかを考えました。「働き方改革」や、情報化の中で、オフィスのあり方や考え方が変化しています。より良い市民サービスを提供していくために効率化や情報化を進めつつも、市役所ならではの事情にうまく対応



した働く場としての市役所はどのようなものでしょうか。ワークショップでは、新しい市役所が完成した少し先の「10年後のオフィス」をテーマに、参加した皆さんからこんな場所があればいいな、こんな機能が必要になる、これができるかというなど思うイメージ写真を持ってきてもらいました。最後はグループ毎に意見をまとめ、目指すべきオフィスのテーマを作成しました。



富田林市  
新庁舎建設  
プロジェクト

#### 【実施概要】

とき：2021年7月2日（金）  
13:00～14:00, 15:00～16:00  
ところ：市役所 参加者：50名

#### 【意見収集方法】

市役所の職員を対象に、各自が持ち寄った写真から、「10年後のオフィス」について議論し、最後にグループ毎にテーマを作成しました。

たくさんの意見やアイデアが出て盛り上がりました。

# ワークショップ ドキュメント

市民も訪れたいくなるような食堂のイメージ写真です。

「職場にこんな場所が必要！」  
だと思っ写真を持ち寄りしました。

なぜその写真を選んだのか、どんなことを考えたか、



また話を聞いて思ったことを書き出しました。



リラックスやリフレッシュできる場所のイメージです。

課の範囲にとらわれないスペースがあって、自然と職員が集まれる場所が欲しい。

ゆるゆるできる開放的な食堂があって、自席以外でご飯が食べられる。

グループのなかで、ディスカッション。



市民も職員も気持ちよく過ごせる市役所とは？

いまは仕事も休憩も会議も同じような空間なので、気分転換するのが難しいと思う。

立ち会議ができるスペースはどうだろうか。ホワイトボードがあるをよさそう。



柔らかい頭で考えるために、世界中のいろいろなオフィス事例を紹介！

最後に成果発表。各グループで話し合った内容や

市民と職員の動線分離や、お昼ご飯を食べたりできる休憩スペースを設けて、メリハリのある働き方が重要。

職員同士のコミュニケーションの場が必要では？



これからの庁舎での働く場のテーマが出揃いました。

グループ <b>J</b>	グループ <b>I</b>	グループ <b>H</b>	グループ <b>G</b>	グループ <b>F</b>	グループ <b>E</b>	グループ <b>D</b>	グループ <b>C</b>	グループ <b>B</b>	グループ <b>A</b>	
職員が毎日来なくなる新庁舎	休憩ができて集中力が高まる庁舎	市民と職員の動線が分かれた快適な職場	市民サービス力を向上させる市庁舎	職員的能力を最大限に引き出して、市民サービス力を向上させる市庁舎	気分転換できて、メリハリのある仕事ができる市役所	ゆとりあるリラックスもできるスマートなワークプレイス	市民の目を気にせず職員同士が交流できるシンボリックな庁舎	開放感・明るさ・ゆったり	職員も市民も過ごしやすい、緑豊かな開けた屋外スペース	オン・オフができる場所

- ①市民サービスと福利厚生との両立
- ・福利厚生と市民サービスはなるべく分ける、職員と市民の動線を分ける、市民の目を気にしないでよい場所が欲しい、大切な情報や職員のプライバシーが守られる場所
  - ・昼ご飯などの職員のプライベートスペース、気分転換できる職員専用スペース、ゆとり休憩したい、切り替えできるスペースが必要、オンオフがよりくつろげる、現在は休憩中だけでなく完全に自由ではない
- ②職員同士のコミュニケーション空間
- ・課の範囲にとられないスペース、職員の情報交換の場、課同士の境界を無くしたい
  - ・職員同士のコミュニケーションの場が必要、自然に職員が集まる場所、コミュニケーションの促進と強化、職員のオススメなどを紹介できる
  - ・オフ的な空間でオンになれる、リラックスした状態で職員同士で協議できる
- ③リフレッシュできる場所
- ・「眺望、植栽など」4階にいて山が見えるのがリフレッシュになっている、新庁舎でも外の景色を見てリフレッシュしたい、窓際で働きたい、自然を感じると心が癒される、屋上スペースの活用、空気感が変わると良いアイデアが出る
  - ・「休憩室」ゆとりできる開放的な食堂、自席以外で食事が取れるスペース、リラックスできる空間、気分転換できる明るい雰囲気、くつろげるスペース、おいしいコーヒーが飲める、煎れたてのコーヒーが飲める

- ・「仮眠」仮眠スペース、シエスタ制度から昼寝、医務室がわりに寝れるところが欲しい、仮眠室兼休憩室、災害対策時には仮眠室になる、靴を脱いで寝転べる
- ④立ち会議スペース
- ・ホワイトボードがある立ち会議ができるスペース
  - ・立って会議すると効率が良い、座ると長くなるのでちょっとした時間を活用したい、気軽に打ち合わせできたらいい、1階は席を外しづらいのでさっと打ち合わせしたい
  - ・席にずっと座っていると体に負担がある
- ⑤集中できるブース
- ・集中できるスペース、集中できる個別ブース、1人用のおこもりスペースがあったらよい
- ⑥その他
- ・歯磨きスペースが欲しい
  - ・「子ども」相談窓口の延長に子どもものスペース、子どもを遊ばせながら窓口対応できる、一階にキッズスペース、子ども用トイレ
  - ・個人の荷物を収納できる場所
- このようにワークショップでのさまざまな意見を参考にし、働く場所としても良いものとなるように、基本設計を進めていきます。



富田林市  
新庁舎建設  
プロジェクト

富田林市本庁舎は、耐震性能の不足や設備の老朽化等、様々な問題を抱えています。平成28年4月に発生した熊本地震では庁舎が被災し、行政機能に支障をきたす事態になったことから、本市では平成29年度に行いました市庁舎耐震化構想業務において市庁舎耐震調査を実施し、これをまとめた「富田林市庁舎耐震調査業務調査報告書」で庁舎北館の耐震性能が確保されていないことを再確認しました。これらの課題の改善策を検討するため、平成30年度に「富田林市庁舎耐震化庁内検討会議」を設置し、「富田林市庁舎耐震化庁内検討会議報告書」をまとめました。さらに、令和2年度には耐震化を含めた新庁舎建設の基本計画となる「富田林市庁舎整備基本計画」を策定し、現在は新庁舎の設計に取り組んでおります。